

## 田辺市ならではの取組

### 語り部ジュニア活動

田辺市は美しい海・山・川をはじめ、世界遺産や三偉人など、人々の心と体を癒やす豊かな自然環境や多彩で魅力的な地域資源が数多くあります。

熊野古道が世界遺産登録10周年を迎えた平成26年に、校区に熊野古道がある学校で、地域の名所・旧跡や産業を学び人々に伝える「田辺市地域語り部ジュニア活動」を始めました。

この活動では、「地域が見える」「人とつながる」「地域に広がる」という3つの段階を踏んで取り組まれていきます。その取組が地域で認められることで、子どもたち一人ひとりが地域に貢献しているという実感を持つことができます。



学校教育課  
よしふみ  
藤田 祥史

### 持続可能な

### 社会の担い手として

世界遺産から始まったこの活動は、平成27年からは世界遺産だけでなく、地域の文化や環境問題などの分野にまで広げ、市内の全ての小中学校で取り組んでいます。

この活動から地域を愛する思いが生まれ、その地域を守り続けることに自ら行動を起こせるような人づくりをめざします。



## 受け継がれる地域への誇り ～世界遺産学習で学んだこと～

### 特集

市には世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」があり、市内の小中学校では、子どもたちが世界遺産をはじめ地域の歴史や文化について学んでいます。

令和5年12月8日(金)～10日(日)に世界遺産学習全国サミットが市内で開催され、その学習の成果を発表しました。

地域のたからものを守るため子どもたちの取り組みを紹介します。身近な地域の歴史・文化の大切さやすばらしさに触れてみませんか。

こんな活動をしたよ！

子どもたちは地域の方と協力し合ったり、地域の魅力を発見・発信したりしました。



龍神中学校

地域の方との古紙・古着回収は、48年続いています。



中辺路中学校

カフェを訪問して、地域の飲食店の魅力を学びました。



三栖小学校

身近にある史跡を巡って、歴史を学びました。



上芳養小学校

修学旅行で、自分達で漬けた梅を配布しました。



衣笠中学校

学校の中庭を畑に耕して、野菜や果物を植えました。



近野中学校

自分たちで作ったもち米からお餅にして販売しました。

### 世界遺産学習全国サミットとは

世界遺産学習の取組を全国の自治体・学校に広げるため、平成22年に世界遺産のある地域の教育委員会で構成する世界遺産学習全国サミットへと発展しました。現在は26団体で構成され、田辺市は平成28年に加盟しました。

サミットでは世界遺産学習の成果と課題を共有し、これからの世界遺産学習について考えます。今回14回目となるサミットが田辺市で開催されました。



東陽中学校



あかね 土井 茜さん たいせい 池田 大晴さん

「熊野の森プロジェクト」として、地域の会社から協力を得ながら、校区内に落ちているどんぐりを発芽させて、2年間自分たちで育成し、苗木にして熊野古道の周辺へ植林しました。

また、地元産品を生かした商品開発をして、店名を「TOYO マート」とし、弁当やスイーツの販売をしました。自分たちで地域の自然や資源を守っていく大切さを学びました。



田辺第二小学校



あいら 増田 うららさん みる 上田 暖琉さん

田辺祭は460年以上の歴史があり、とても前から大切にされてきたんだと思いました。田辺祭に行ったことはあったけど、流鏝馬や住矢の走りなどは知らなかったの、田辺祭に行く楽しみが増えました。

また、田辺の三偉人の一人に武蔵坊弁慶というすごい人がいることを知りました。語り部として発表もしましたが、もっと多くの人に知ってほしいと思いました。



## 子どもたちが学んだ地域の魅力

世界遺産学習サミットでは、歴史や文化、特産物などそれぞれの学校や地域によって特色のある発表内容で、子どもたちは自信を持って、自分の住んでいる地域の魅力を参加された皆さんに伝えていました。

サミットで発表をした先生や子どもたちに、これまでの取組についてお話を伺いました。



1日目は田辺第二小学校と東陽中学校で公開授業、2日目は紀南文化会館で小中学校合わせて9校のポスターセッションが行われました。



龍神中学校 渡辺 萌果さん

3年間、田んぼアートや古紙・古着回収、植樹体験など、地域とつながる総合的な学習をしてきました。田んぼアートの取組では、田植えや稲刈りの作業をし、作ったお米は給食や調理実習で使うなど「食」の大切さに気付く良いきっかけになりました。

地域学習全てに、地域の方々に関わってくれています。人の温かさ、そして、龍神村の自然は私たちの自慢です。



新庄中学校 鷹巣 天蒼さん

現代社会の問題点、課題を探し、それを解決するためにどんな方法があるかをSDGsの視点を取り入れて学習しました。その中で、環境問題について調べ、世界の森林は年々減少していて、それはそこに住む動植物にも影響を与えていることを知りました。

森林を守るために一人ひとりが危機感を持ち、紙の使用料を減らすなど、できることをしていかなければいけないと思います。



上芳養小学校 松山 優来さん

上芳養の梅のすごさを学びました。上芳養にはたくさんの梅畑があり、収穫量は3,326トンもあります。体験学習では梅拾いをしたり、梅ジュース作りをしたりしました。

今度の修学旅行では、自分たちで作った梅干しを配ります。たくさんの人に上芳養の梅はすごいんだと知ってもらいたいです。また、自分たちの地域で梅を作っている農家さんを誇りに思います。

田辺第二小学校の校区内には世界遺産に登録されている闘雞神社をはじめ、歴史的な史跡や遺産が多くあります。6年生の総合的な学習では、毎年、闘雞神社を中心に武蔵坊弁慶、南方熊楠などの田辺にゆかりのある歴史上の人物などを学習しています。また、子どもたちは、「田辺祭」や「弁慶まつり」などの地域の祭りを毎年楽しみにしており、闘雞神社は子どもたちにとって、とても身近な場所となっています。しかし、近年は田辺市から離れる若者が多くなり、田辺祭などの地域の祭りの存続が難しくなっています。

実際に、闘雞神社へ出向き、宮司さんから説明を受けたり、田辺祭保存会の方にお話を聞いたりしたことは、私たち教師にとっても貴重な体験となりました。これからもっと地域について学び、子どもたちが地域のことを好きになってくれたらうれしです。

## 地域のことを好きになってほしい

田辺第二小学校 6年生担任



りょうか 瀬戸 涼風先生



かずき 堂元 一希先生



## 道普請で 熊野古道を守る

道普請とは、熊野古道の文化的景観を守るための保全活動のことです。本宮中学校でも道普請の活動をしています。

本宮中学校  
茶木 豊広さん  
雨で土が流れて、ぼこぼこになった階段に、土を入れる作業などを行っています。

道普請は大変ですが、とても達成感があります。作業中は観光客の方も通りますが、そうした人にとって歩きやすい、また来たいと思えるような道を作ることに少しでも貢献できていると思うとうれしさを感じます。



泉くんの一番好きなポイントは、間伐材でできた「森のベッド」だそうです♪



## 三里小学校 発心門王子～熊野本宮大社

5年生から語り部ジュニアの学習をしています。語り部の活動を始める前は、熊野古道のことを詳しく知りませんでしたが、自分たちで調べたり、語り部の会の松本さんに教えてもらったりしながら、少しずつ分かるようになりました。

今回の語り部では、「声が大きく聞き取りやすかった」と言ってもらったことがうれしかったです。

本宮には、海外の方もたくさん来てくれるので、良い地域だなと思うし、これからも大切にしていきたい場所です。



かずのり 泉 一徳さん 　 れいな 玉置 怜奈さん

## 地域への思いを語って

世界遺産学習サミットの最終日は、実際に子どもたちが語り部を行いました。語り部をした子どもたちの感想とともに、熊野古道を守るために道普請に取り組む本宮中学校、また、そのような子どもたちの活動を支えるお二人にお話を伺いました。

## 明洋中学校 植芝盛平記念館

明洋中学校では、授業で合気道の歴史などについて学び、実際に合気道もします。合気道や植芝盛平という名前は知っていましたが、植芝盛平の生い立ちなど、今まで知らなかった新たな発見がありました。

今回の語り部では、そんな合気道や植芝盛平についてより多くの人に知ってもらいたいと思いました。当日は緊張しましたが、合気道の歴史や良さを語ることができて楽しかったです。



みほな 下浦 弥華さん

## 本宮小学校 湯の峰温泉～熊野本宮大社

語り部活動では、湯登神事や旅館の紹介など、自分たちの身近にあるものを取り上げることで、聞いてくれた人たちに伝わりやすい語り部をすることができました。その中で、僕たちの住んでいる地域には、熊野古道という世界遺産があることの素晴らしさを改めて知りました。

また、6年生として、来年語り部をする下級生のお手本になるような姿を見せ、引き継いでいってほしいという思いで取り組みました。

毎日のように練習したこともあって、聞いてくれた人たちと楽しく雑談をしながら歩けたので、やり遂げた後はすごく達成感がありました。



むつみ 北川 睦さん



和歌山県  
世界遺産センター  
たきや 土永 択也さん

## 道の「空間」を守っていききたい

**道** 普請の活動では、主に土が雨で流れてしまったり、人が歩くことによって傷んだりしたところに土を補充する作業をしています。熊野古道のような舗装されていない道は、保全をしないと、あつという間に景観が損なわれてしまいます。今では、道普請の活動が企業や団体、学校など、とても広く普及しており、世界遺産の道をみんなで守り続けています。道普請をする中で大事にしてほしい思いは、道を守ること、そして、道の「空間」も守るということです。道中には各神社や獅子舞など有形・無形の文化財がたくさんあり、また、道沿いにある人々の暮らしや文化をたどる場所でもあるからこそ、周辺の景観も含めてみんながこの場所を守っていく必要があることを、子どもたちに伝えていきます。これからの素晴らしい地域を守っていきけるよう参加をお待ちしています。

## 人が人らしく生きられる場所

**私** は、市外の出身ですが、本宮へ移り、この地域の景観の良さ、川はこんなにも澄み渡っているのかと衝撃を受けました。豊かな自然を目の当たりにし、ここは人が人らしく生きることができ、私の生きる拠点であると感じました。語り部は、この熊野の地が壮大な自然、歴史、文化から成り立っており、自分を見つめ直すことができる場所であることを伝えていく大切な役割であると感じます。

語り部ジュニアは小学生同士が行う活動であり、あくまで私たちが見守る役割です。少し語り方を教えるだけで、子どもたちは自信を持った生き生きとした様子へと変わっていきます。子どもたちへの指導から私たちが学ぶことも多いです。

子どもたちがこの活動から自分の生まれた地に誇りを持ってもらえれば、本当にうれしい限りです。



熊野本宮語り部の会  
しげこ 松本 茂子さん